

# 亀山市人事行政の運営等の状況について

これは、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第58条の2及び亀山市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例（平成18年条例第1号）の規定に基づき、人事行政の運営等の状況について公表するものです。

平成29年12月

## — 目 次 —

第 1 章	職員の任免及び職員数に関する状況	2
1	職員の任免の状況	
2	職員数の状況	
3	定員適正化計画の数値目標及び進捗状況	
4	等級及び職制上の段階ごとの職員数	
第 2 章	職員の人事評価の状況	8
第 3 章	職員の給与の状況	9
1	総括	
2	一般行政職給料表の状況	
3	職員の平均給与月額、初任給等の状況	
4	一般行政職の級別職員数等の状況	
5	職員の手当の状況	
6	特別職の報酬等の状況	
第 4 章	公営企業職員の状況	17
1	水道事業・工業用水道事業	
2	病院事業	
第 5 章	職員の勤務時間その他の勤務条件の状況	23
1	一般職の勤務時間の状況	
2	休暇の概要	
第 6 章	職員の休業の状況	25
1	各種休暇の取得状況	
第 7 章	職員の分限及び懲戒処分の状況	26
1	分限処分の状況	
2	懲戒処分の状況	
第 8 章	職員の服務の状況	27
1	職務専念義務免除の概要	
2	営利企業等への従事	
第 9 章	職員の退職管理の状況	28
第 10 章	職員の研修の状況	29
1	研修の状況	
第 11 章	職員の福祉及び利益の保護の状況	30
1	健康管理事業の状況	
2	職員互助会への補助金の状況	
3	その他福利厚生事業の状況	
第 12 章	その他市長が必要と認める事項	31
1	公平委員会の業務の状況	

## 第1章 職員の任免及び職員数に関する状況

### 1 職員の任免の状況

#### (1) 採用状況

区 分	採用者数
事 務 職	8 人
保育士・幼稚園教諭	3 人
給食調理員	3 人
消 防 職	4 人
医 療 職	5 人
合 計	20 人

(注) 採用者数は、平成28年4月2日から平成29年4月1日に採用した人数です。

#### (2) 退職状況（平成28年度）

区 分	普通退職	勸奨退職	定年退職	合 計
事 務 職	3 人	1 人	3 人	7 人
技能労務職	—	1 人	2 人	3 人
保育士・幼稚園教諭	1 人	—	2 人	3 人
消 防 職	—	2 人	4 人	6 人
医 療 職	3 人	—	2 人	5 人
合計	7 人	4 人	13 人	24 人

(注) 退職者数は、平成28年4月2日から平成29年4月1日に退職した人数です。

## 2 職員数の状況

### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

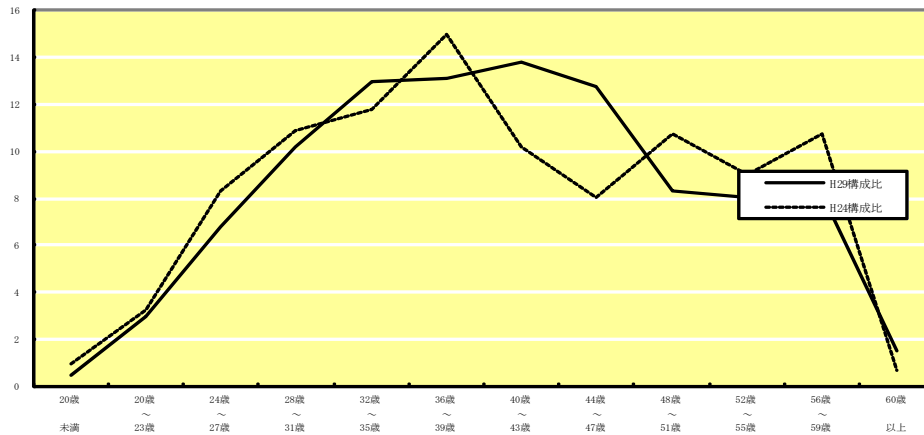
(各年4月1日現在)

区 分 部 門		職 員 数 (人)		対前年 増減数	主な増減理由
		平成28年	平成29年		
一般行政部門	議 会	7	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業者の復帰に伴う配置換え</li> <li>・業務量の変更に伴う職員配置の変更</li> </ul>
	総 務	92	86	▲6	
	税 務	20	20	0	
	農林水産	15	15	0	
	商 工	9	9	0	
	土 木	41	43	2	
	民 生	81	86	5	
	衛 生	33	31	▲2	
	小 計	298	297	▲1	
特別行政部門	教 育	72	76	4	
	消 防	83	81	▲2	
	小 計	155	157	2	
公営企業等会計部門	病 院	88	91	3	
	水 道	14	14	0	
	下 水 道	14	14	0	
	そ の 他	14	14	0	
	小 計	130	133	3	
合 計		583 [ 616 ]	587 [ 616 ]	4 [ 0 ]	

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。

2 [ ]内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況（平成29年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	3人	22人	40人	60人	76人	77人	81人	75人	49人	47人	48人	9人	587人

**3 定員適正化計画の数値目標及び進捗状況**

(1) 定員適正化目標

計画期間		数値目標			
始期	終期	H27.4.1 職員数	H32.4.1 職員数	H27 対 H32	
				増減数	増減率
平成27年4月1日	平成32年4月1日	424人	424人	0人	0.0%

(注) 消防職及び医療職を除く職員数です。

(2) 定員適正化計画の進捗状況

(各年4月1日現在)

	平成27年	平成28年 1年目	平成29年 2年目	平成30年 3年目	平成31年 4年目	平成32年 5年目	合計
差引	—	▲6人	4人	—	—	—	▲2人
職員数	424人	418人	422人	—	—	—	—

(注) 消防職及び医療職を除く職員数です。

#### 4 等級及び職制上の段階ごとの職員数

##### (1) 行政職給料表 (一)

(平成29年4月1日現在)

等級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	合計		内訳		職制上の段階		
		人	%	職名	人	人	%	段階
1級	定型的な業務を行う職務	49	10.3	主事 技師 保育士 教諭 保育教諭 保健師 署員 室員	19 3 6 3 1 - 13 4	49	10.3	主事級
2級	1 主任の職務 2 特に高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務	76	16.0	主任主事 主任技師 主任保育士 主任教諭 主任保育教諭 主任保健師 主任	34 3 14 3 4 5 13	76	16.0	主任主事級
3級	主査の職務	133	28.0	主査	133	133	28.0	主査級
4級	主任主査の職務	86	18.1	主任主査	86	86	18.1	主任主査級
5級	室長、工事検査監、設計審査監、専門監、園長、副参事、副室長及び主幹の職務	59	12.4	副室長	8	59	12.4	主幹級
				主幹 室長 園長 館長 隊長 副参事 副署長 分署長	36 9 2 1 1 - 1 1			室長級
6級	1 参事の職務 2 困難な業務を分掌する室長、工事検査監、設計審査監、専門監、園長及び副参事の職務	52	11.0	室長 園長 副参事 事務局長(監査委員、選挙管理委員会) 会計管理者 署長 分署長 館長 工事検査監	31 11 3 2 1 1 1 1 1	52	11.0	室長級
7級	1 消防長、理事、部長、局長、支所長及びセンター長の職務 2 困難な業務を分掌する参事の職務	20	4.2	部長 次長 事務局長 センター長 支所長 参事 局長 園長 消防長	6 2 2 1 1 4 3 - 1	20	4.2	部長級

## (2) 医療職給料表（一）

等級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	合計		内訳		職制上の段階		
		人	%	職名	人	人	%	段階
1級	医療業務を行う職務	-	-	医師	-	-	-	医師級
2級	1 医長の職務 2 高度の知識経験に基づき困難な医療業務を行う職務	1	20.0	医長	1	1	20.0	医長級
3級	1 診療部長の職務 2 部長の職務 3 困難な業務を処理する医長の職務	3	60.0	診療部長 医長	1 2	3	60.0	部長級
4級	院長又は副院長の職務	1	20.0	院長	1	1	20.0	院長級

## (3) 医療職給料表（二）

等級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	合計		内訳		職制上の段階		
		人	%	職名	人	人	%	段階
1級	管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士及び臨床工学技士の職務	2	11.8	放射線技師 理学療法士	1 1	2	11.8	技師級
2級	1 薬剤師の職務 2 困難な業務を行う管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士及び臨床工学技士の職務	2	11.8	薬剤師 臨床検査技師 理学療法士 放射線技師	- 1 1 -	2	11.8	
3級	主任の職務	4	23.5	主任臨床工学技士 主任臨床検査技師 主任理学療法士 主任薬剤師	1 1 1 1	4	23.5	主任級
4級	1 室長の職務 2 副薬剤部長の職務 3 困難な業務を行う主任の職務	8	47.0	主任臨床工学技士 主任診療放射線技師 主任管理栄養士 主任作業療法士 室長 副薬剤部長 主任薬剤師	1 1 1 1 1 1 2	8	47.0	
5級	1 技師長の職務 2 困難な業務を行う室長の職務 3 困難な業務を行う副薬剤部長の職務	1	5.9	技師長	1	1	5.9	技師長級
6級	薬剤部長の職務	-	-		-	-	-	部長級

(4) 医療職給料表 (三)

等級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	合計		内訳		職制上の段階		
		人	%	職名	人	人	%	段階
1級	准看護師の職務	1	1.6	准看護師	1	1	1.6	看護師級
2級	1 看護師の職務 2 困難な業務を行う准看護師の職務	21	33.9	看護師 准看護師	16 5	21	33.9	
3級	主任の職務	23	37.1	主任看護師	23	23	37.1	主任級
4級	1 副看護師長の職務 2 困難な業務を行う主任の職務	11	17.7	主任看護師	4	11	17.7	副師長級
				副看護師長	7			
5級	1 副看護部長の職務 2 看護師長の職務	5	8.1	副看護部長 看護師長	1 4	5	8.1	師長級
6級	看護部長の職務	1	1.6	看護部長	1	1	1.6	部長級

(5) 行政職給料表 (二)

等級	等級別基準職務表に規定する基準となる職務	合計		内訳		職制上の段階		
		人	%	職名	人	人	%	段階
1級	定型的な作業を行う職務	-	-	給食調理員	-	-	-	技能労務職
2級	相当の技能又は経験を必要とする作業を行う職務	7	25.0	給食調理員	7	7	25.0	
3級	高度の技能又は経験を必要とする作業を行う職務	8	28.6	技能員 給食調理員 応接員	3 3 2	8	28.6	
4級	1 主任の職務 2 特に高度の技能又は経験を必要とする作業を行う職務	-	-	主任給食調理員 主任応接員	- -	-	-	主任技能労務職
5級	1 職長の職務 2 困難な業務を処理する主任の職務	13	46.4	主任技能員 主任給食調理員 主任応接員 職長	3 6 2 2	13	46.4	



## 第2章 職員の人事評価の状況

本市では、職員の意識改革を促し、組織力を高めるため、消防職、医療職を除く職員を対象に、平成21年度に人事考課制度を試行導入して以降、制度そのものの効果を発揮しつつ、効率的な手法を模索しながら運用を見直し、発揮された実績や能力を、管理職と管理職以外に区分し、それぞれを客観的に評価する仕組みを構築しました。

そのような中、地方公務員法の改正により、すべての職員が定期的に人事評価を行うことが義務付けられたほか、評価は「能力評価」と「実績評価」の両面から行うこととされたことから、平成27年度に評価制度の改訂を行い、平成28年度から実施しています。

対象職員	すべての一般職の職員（派遣職員等を除く）	
評価の種類	実績評価	目標管理手法を用いて、どのような目標を、どこまで達成し、どれだけの成果をあげたかを評価する
	能力評価	安定的に高い成果を生み出す職務行動を抽出し、その行動特性がどれだけ発揮されているかを評価する
	多面評価	部長級、室長級、主幹級の職員を対象に、所属職員により日常の指導や行動を評価する。
評価基準日	2月1日	
評価期間	4月1日から3月31日	

### 第3章 職員の給与の状況

#### 1 総括

##### (1) 人件費の状況（一般会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (28年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 27年度の人件費率
28年度	49,530人	19,755,921千円	330,521千円	3,809,026千円	19.3%	19.0%

(資料：平成28年度地方財政状況調査表)

##### (2) 職員給与費の状況（一般会計予算）

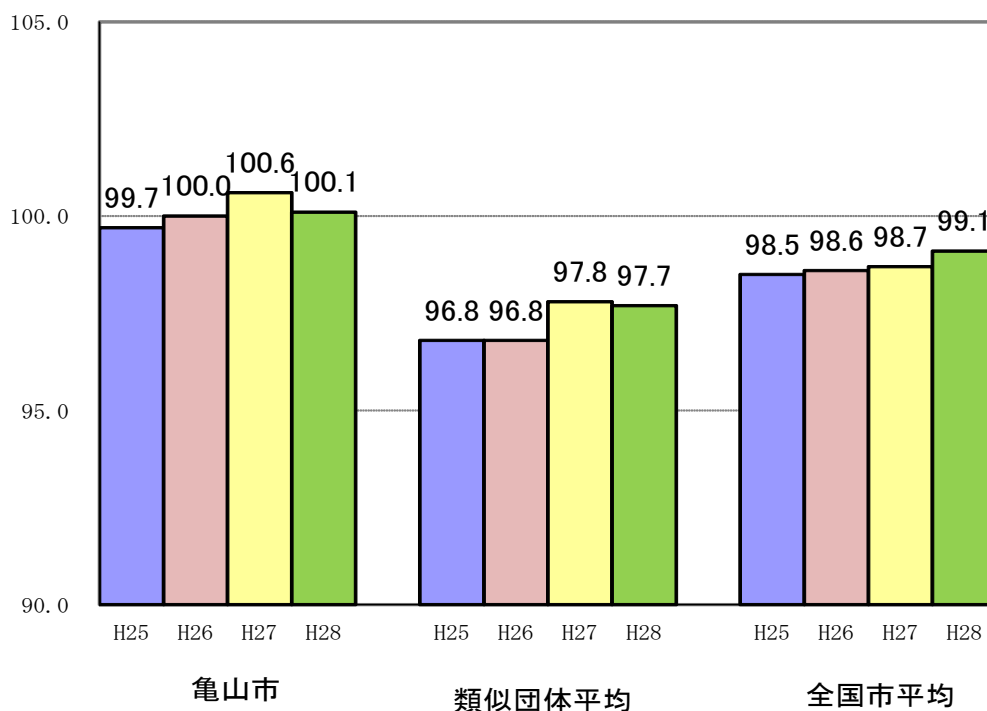
区分	職員数 A	給与費				一人当たり給与 費 B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
29年度	466人	1,686,308千円	463,096千円	704,369千円	2,853,773千円	6,124千円

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。

(資料：平成29年度当初予算書)

2 給与費は当初予算に計上された額です。

##### (3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした指場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

3 平成25年度は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定特例法による給与減額措置が無いとした場合の値である。

※ 平成28年4月1日のラスパイレス指数が、①3年前に比べ1ポイント以上上昇している場合、②3年連続で上昇している場合、③100を超えている場合について、その理由及び改善の見込み

③昇給及び経験年数に応じた特別昇給を実施しているため。また、改善方法については検討中。

#### (4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

【概要】国の給与制度の総合的見直しにおいては、給料表の水準の平均2%の引下げ及び地域手当の支給割合の見直し等に取り組むとされている。

##### ①給料表の見直し

[ 実施 ]

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日

(内容) 民間賃金の低い地域における官民の給与差を踏まえ、給料表の水準を2%引き下げた。

給与制度の総合的見直しにより給料表水準の引き下げとなった職員で、引き下げ後の給料月額が、切り替え日の前日(平成27年3月31日)に受けていた給料月額に達しない職員に対しては、平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間に限り、経過措置としてその差額を支給する。

##### ②地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

(支給割合) 国基準6%に対し、本市においても6%を支給。

(実施時期) 平成28年4月1日より実施。

(参考)

	平成26年度の 支給割合	平成27年度の 支給割合	平成28年度の 支給割合
国基準による支給割合	4%	4%	6%
亀山市の支給割合	4%	4%	6%

## 2 一般行政職給料表の状況（平成29年4月1日現在）

（単位：円）

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級
1号級の給料月額	140,600	191,700	227,900	261,100	287,100	317,700	361,800
最高号級の給料月額	246,600	303,400	349,200	380,200	392,200	409,400	444,100

## 3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成29年4月1日現在）

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	41.0歳	329,000円	412,000円

（資料：平成29年度給与実態調査）

- （注） 1 「平均給料月額」とは、平成29年4月1日現在における一般行政職職員の基本給の平均です。  
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものです。

### (2) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（技能労務職）

区 分	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額
亀山市	50.2歳	26人	278,800円	310,500円
清掃職員	51.0歳	2人	311,100円	365,000円
調理員	48.8歳	10人	278,300円	305,000円
応接員	58.8歳	5人	290,400円	313,900円
運転手	48.3歳	1人	289,100円	405,900円
その他	46.4歳	8人	262,800円	287,700円

### 技能労務職員の基本的な考え方及び今後の取組内容

亀山市行政改革大綱の主旨に沿って、平成23年度から5年間で平成22年度の職員数維持を目標とする「定員適正化計画」を策定し、組織マネジメント機能の強化や組織のスリム化を図る一方で、職員数が不足する職種の重点的な職員採用を行うほか、指定管理者制度の拡充や非常勤職員の活用などにより目標を達成することができました。労務職については、必要に応じて給食調理員を採用する場合を除き、原則として退職者補充は行わないこととします。また、現在の組織・機構が求められる行政需要に対し最適なものであるかについての検証と定員配置の適正化について検討を行い、適正な定員管理に努めていきます。

(3) 職員の初任給の状況（平成29年4月1日現在）

		亀山市	三重県	国
一般行政職	大学卒	167,600円	189,200円	182,700円（Ⅰ） 178,200円（Ⅱ）
	高校卒	146,100円	154,900円	146,100円
技能労務職	高校卒	153,000円	154,900円	-

(4) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成29年4月1日現在）

区分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	269,700円	304,500円	357,300円
	高校卒	229,300円	277,000円	310,300円
技能労務職	高校卒	211,500円	249,300円	271,600円

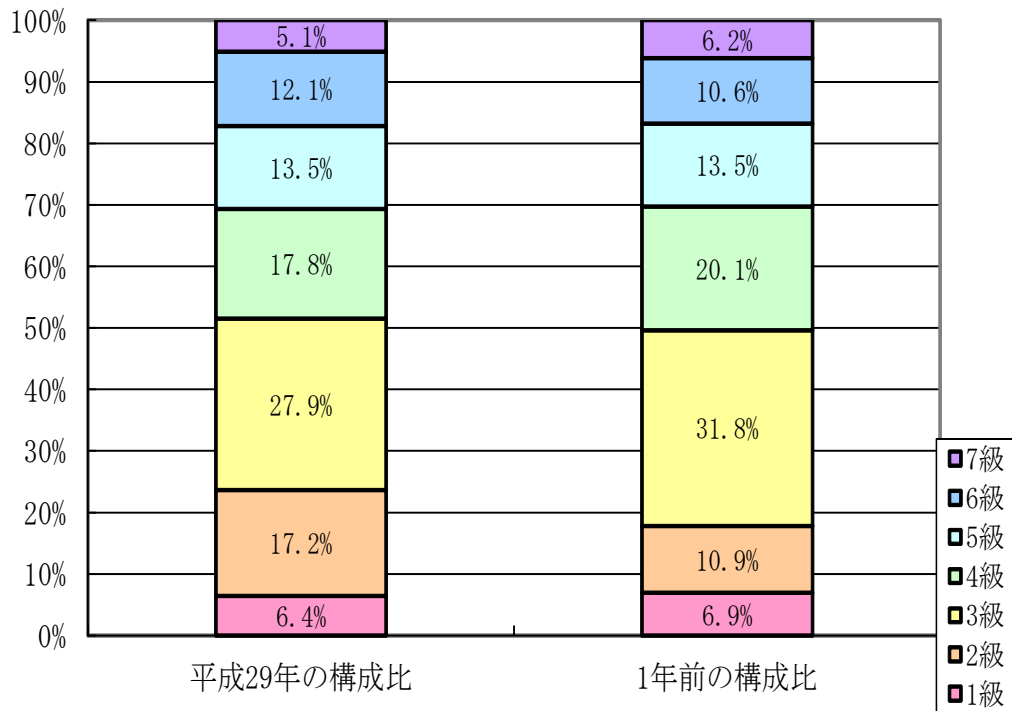
#### 4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況（平成29年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
1級	定型的な業務を行う職務	19人	6.4%
2級	1 主任の職務	51人	17.2%
	2 特に高度の知識又は経験を必要とする業務を行う職務		
3級	主査の職務	83人	27.9%
4級	主任主査の職務	53人	17.8%
5級	室長、工事検査監、設計審査監、専門監、園長、副参事、副室長及び主幹の職務	40人	13.5%
6級	1 参事の職務	36人	12.1%
	2 困難な業務を分掌する室長、工事検査監、設計審査監、専門監、園長及び副参事の職務		
7級	1 理事、部長、局長、支所長及びセンター長の職務	15人	5.1%
	2 困難な業務を分掌する参事の職務		

(注) 1 亀山市職員給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成28年4月2日から平成29年4月1日 までにおける運用	亀山市		国	
	管理職員	一般職員	特定管理 職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用			○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用		○		
標準の区分のみ適用	○			
ロ 人事評価を実施していない				

## 5 職員の手当の状況

### (1) 期末手当・勤勉手当（平成29年4月1日現在）

亀山市		三重県	
1人当たり平均支給額 (平成28年度決算) 1,470千円		1人当たり平均支給額 (平成28年度決算) 1,671千円	
期末手当 2.60月分 (1.45月分)	勤勉手当 1.70月分 (0.8月分)	期末手当 2.60月分 (1.45月分)	勤勉手当 1.615月分 (0.8月分)
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算 役職加算 5%~15%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算 役職加算 5%~20% 管理職加算 15%~25%	

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合です。(一般会計のみ)

### ○勤勉手当への勤務成績の反映状況（一般行政職）

平成28年度中における運用	亀山市		国	
	管理職員	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の成績率も適用			○	○
標準に加え、上位の成績率も適用				
標準に加え、下位の成績率も適用				
標準の成績率のみ適用	○	○		
ロ 人事評価を実施していない				

### (2) 退職手当（平成29年4月1日現在）

支給率	自己都合	勸奨・定年
	勤続20年	20.445月分 25.55625月分
	勤続25年	29.145月分 34.5825月分
	勤続35年	41.325月分 49.59月分
	最高限度額	49.59月分 49.59月分
その他の加算措置	定年早期退職特例措置 2%~20%加算	
1人当たり平均支給額 (平成28年度)	自己都合 5,647千円	勸奨・定年 20,520千円

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した一般会計の全職種に係る職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当（平成29年4月1日現在）

支給実績（平成28年度決算）		105,654千円
支給職員1人当たり平均支給年額（平成28年度決算）		220,572円
支給対象	支給率	支給対象職員数
一般会計等職員	6%	479人

(4) 特殊勤務手当（平成29年4月1日現在）

支給実績（平成28年度決算）		5,143千円	
支給職員1人当たり平均支給年額（平成28年度決算）		73,478円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成28年度）		14.1%	
手当の種類（手当数）		3種類	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給単価
防疫手当	環境産業部職員	感染症の病原体に汚染され、又は汚染された疑いがある物件の消毒作業及びねずみ族、昆虫等の駆除作業に従事したとき。	日額 400円
	環境産業部職員	感染症の病原体を有する家畜若しくはその疑いのある家畜に対する防疫作業又は人体に有害な薬品を使用して植物の防疫作業若しくは害虫の駆除作業に従事したとき。	日額 400円
危険及び不快手当	健康福祉部職員	行旅病人の救護に従事したとき。	日額 1,500円
		行旅死亡人の処理に従事したとき。	日額 3,000円
	環境産業部職員	じんかい収集又は焼却場の処理作業に従事したとき。	日額 850円
	消防職員	消防職員が消火作業又は救急患者の搬送に従事したとき。	1件 300円
特殊手当	全職員	年末年始において、市長が別に定める業務に従事したとき。	市長が業務によって定める額

(5) 時間外勤務手当

支給実績（平成28年度決算）	158,730千円
職員1人当たり平均支給年額（平成28年度決算）	345千円

（注） 支給実績及び平均支給年額は、一般会計の額です。

(6) その他の手当（平成29年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価（月額）	国の制度との異同	
扶養手当	扶養親族を扶養している職員に支給	同	
	・配偶者		10,000円
	・子		8,000円
	・配偶者以外の扶養親族		6,500円
	・特定期間の加算（16歳～22歳）		5,000円



住居手当	借家・借間居住職員及び自宅居住職員に支給 ・借家・借間居住職員 支給限度額 27,000円	同
通勤手当	通勤に交通機関又は交通用具を利用している職員に支給 ・交通機関等利用者 最高限度額 55,000円 ※最長期間の定期相当額を支給単位期間で除した額の限度額 ・交通用具使用者(2km以上) 2,000円～24,500円	異
管理職手当	管理、監督の職にある職員に月額36,000円～112,400円を支給	異
管理職員特別勤務手当	管理、監督の職にある職員が臨時又は緊急の必要性等を有する業務のため、週休日又は休日に勤務した場合に4,000円～12,000円を支給	異

## 6 特別職の報酬等の状況（平成29年4月1日現在）

区 分		給料月額等	
給 料	市 長	995,000円（945,250円）	
	副 市 長	745,000円（707,750円）	
	教 育 長	650,000円（617,500円）	
	病院事業管理者	650,000円（617,500円）	
報 酬	議 長	495,000円	
	副 議 長	420,000円	
	議 員	390,000円	
期 末 手 当	市 長		
	副 市 長	6月期	1.975月分
	教 育 長	12月期	2.125月分
	病院事業管理者		
退 職 手 当	議 長	6月期	1.775月分
	副 議 長	12月期	1.925月分
	議 員		
	市 長		
	副 市 長	(算定方式) (支給時期)	
	教 育 長	給料月額×在職年数×450/100	任期毎
	病院事業管理者	給料月額×在職年数×280/100	任期毎
		給料月額×在職年数×200/100	任期毎

※ ( )内の金額は、給与削減措置により5%減額した額です。

## 第4章 公営企業職員の状況

### 1 水道事業・工業用水道事業

#### (1) 職員給与費の状況

##### ① 決算（平成28年度）

（資料：平成28年度各企業会計地方公営企業決算状況調査）

区 分	総費用 A	純損益 又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B / A	(参考) 27年度の総費用に占 める職員給与費比率
水道事業	1,118,310千円	113,005千円	121,353千円	10.9%	9.4%
工業用水道事業	47,329千円	27,447千円	600千円	1.3%	1.0%

（注）資本勘定支弁職員に係る職員給与費を含みません。

##### ② 予算（平成29年度）

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B / A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
水道事業	13人	53,825千円	22,238千円	23,258千円	99,321千円	7,640千円
工業用水道事業	1人	402千円	132千円	—	534千円	534千円

（注）1 職員手当には退職給付費を含みません。

（資料：平成29年度各企業会計予算書）

2 給与費は当初予算に計上された額です。

#### (2) 職員の平均給与月額、初任給等の状況

##### ① 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成29年4月1日現在）

###### ア 水道事業

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
事務・技術職	38.9歳	298,031円	462,656円
			(404,195円)
技能労務職	57.2歳	342,500円	394,655円
			(386,732円)

###### イ 工業用水道事業

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
事務・技術職	53.1歳	401,200円	520,746円
			(520,746円)

（注）1 「平均給料月額」とは、平成29年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、調整手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものです。このうち、上段はこれら全ての諸手当込みのものです。

3 ( ) 内は、時間外勤務手当、特殊勤務手当を除く額です。

### (3) 職員の手当の状況

#### ① 期末手当・勤勉手当（平成29年4月1日現在）

亀山市	一般行政職
1人当たり平均支給額 (平成28年度決算) 1,616千円	1人当たり平均支給額 (平成28年度決算) 1,470千円
期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.70月分 (1.45月分) (0.8月分)	期末手当 勤勉手当 2.60月分 1.70月分 (1.45月分) (0.8月分)
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算 役職加算 5%~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算 役職加算 5%~15%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合です。

#### ② 退職手当（平成29年4月1日現在）

支 給 率	自己都合	勤続20年	20.445月分	勤続25年	25.55625月分	勤続35年	34.5825月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分
	勤続20年	20.445月分	勤続25年	25.55625月分	勤続35年	34.5825月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分	
	勤続25年	29.145月分	勤続35年	41.325月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分			
	勤続35年	41.325月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分					
その他の加算措置	定年早期退職特例措置 2%~20%加算									

#### ③ 地域手当（平成29年4月1日現在）

支 給 実 績 (平成28年度決算)	3,285千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (平成28年度決算)	234,643円	
支給対象	支給率	支給対象職員数
全職員	6%	14人

(注) 地域手当・・・平成18年度新設

#### ④ 特殊勤務手当（平成29年4月1日現在）

支給実績 (平成28年度決算)	856千円
支給職員1人当たり平均支給年額 (平成28年度決算)	61,143円
職員全体に占める手当支給職員の割合 (平成28年度)	2.4%
手当の種類 (手当数)	1種類

(注) 手当の名称、主な支給対象業務は、第2章の4「職員の手当の状況 (4)特殊勤務手当」と同様です。

#### ⑤ 時間外勤務手当

支 給 実 績 (平成28年度決算)	7,684千円
職員1人当たり平均支給年額 (平成28年度決算)	549千円

#### ⑥ その他の手当（平成29年4月1日現在）

第2章の5「職員の手当の状況 (6)その他の手当」と同様です。

## 2 病院事業

### (1) 職員給与費の状況

#### ① 決算（平成28年度）

（資料：平成28年度各企業会計地方公営企業決算状況調査）

区 分	総費用 A	純損益 又は 実質収支	職員給与費 B	総費用に占める 職員給与費比率 B / A	(参考) 27年度の総費用に占 める職員給与費比率
病院事業	1,736,698千円	261,592千円	865,104千円	49.8%	46.8%

（注）資本勘定支弁職員に係る職員給与費を含みません。

#### ② 予算（平成29年度）

区 分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B / A
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
病院事業	94人	347,340千円	156,401千円	140,169千円	643,910千円	6,850千円

（注）1 職員手当には退職給付費を含みません。

（資料：平成29年度各企業会計予算書）

2 給与費は当初予算に計上された額です。

### (2) 職員の平均給与月額、初任給等の状況

#### ① 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成29年4月1日現在）

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
医療職	41.9歳	310,500円	417,800円 (354,000円)
うち医師	46.3歳	478,100円	1,161,400円 (603,500円)
うち医療技師	44.5歳	294,000円	368,900円 (335,000円)
うち看護師	41.0歳	303,100円	379,800円 (341,900円)

（注）1 「平均給料月額」とは、平成29年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、調整手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものです。このうち、上段はこれら全ての諸手当込みのものです。

3 ( ) 内は、時間外勤務手当、特殊勤務手当を除く額です。

#### ② 職員の初任給の状況（平成29年4月1日現在）

医師	大学卒	315,700円
医療技師	大学卒	190,700円
看護師	短大3卒	210,800円

③ 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成29年4月1日現在）

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
医師	大学卒	451,400円	477,800円	508,100円
医療技師	大学卒	262,900円	295,300円	328,900円
看護師	短大3卒	272,900円	301,700円	333,400円

(3) 職員の手当の状況

① 期末手当・勤勉手当（平成29年4月1日現在）

亀山市		一般行政職	
1人当たり平均支給額 (平成28年度決算) 1,527千円		1人当たり平均支給額 (平成28年度決算) 1,470千円	
期末手当 2.60月分 (1.45月分)	勤勉手当 1.70月分 (0.8月分)	期末手当 2.60月分 (1.45月分)	勤勉手当 1.70月分 (0.8月分)
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算 役職加算 5%~15%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算 役職加算 5%~15%	

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合です。

② 退職手当（平成29年4月1日現在）

支 給 率	自己都合	勸奨・定年	
	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
	勤続35年	41.325月分	49.59月分
	最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置	定年早期退職特例措置 2%~20%加算		

③ 地域手当（平成29年4月1日現在）

支給実績（平成28年度決算）		22,549千円
支給職員1人当たり平均支給年額（平成28年度決算）		256,239円
支給対象	支給率	支給対象職員数
医師	20%	4人
医師以外の職員	6%	84人

④ 特殊勤務手当（平成29年4月1日現在）

支給実績（平成28年度決算）	45,418千円
支給職員1人当たり平均支給年額（平成28年度決算）	516,114円
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成28年度）	15.0%
手当の種類（手当数）	3種類

手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	支給単価
特殊手当	全職員	年末年始において、市長が別に定める業務に従事したとき。	市長が業務によって定める額
病院手当	看護師	看護師等が正規の勤務時間による勤務の一部又は全部を深夜(午後10時から翌日の午前5時までの間をいう。以下同じ。)において行われる看護等の業務に2時間以上従事したとき。	当該業務の勤務時間が、深夜の前部を含む勤務である時は 8,000円、深夜の一部を含む勤務であるときは 4,000円。ただし、1月に8回を超えてこれら業務に従事した時は、当該超えて従事した業務1回につき2,000円を加算する。
	放射線技師	診療放射線技師又は市長がこれに準ずると認めた職員が放射線撮影業務に従事したとき。 (1) 放射線技師 (2) その他の職員	月額 6,000円 日額 230円
	病院に勤務する医師以外の職員	医師以外の者が死体解剖に従事したとき。	1体 2,000円
	病院に勤務する職員	業務の都合上待機を命ぜられたとき。	1回 2,000円
	病院に勤務する職員	次の職員が亀山市立医療センターに勤務したとき。 (1) 臨床検査技師、理学療法士及び臨床工学技士 (2) 薬剤師、管理栄養士及び診療放射線技師 (3) 副看護部長及び副看護師長 (4) 看護師及び准看護師	月額 8,000円 月額 5,000円 月額 12,000円 月額 8,000円
研究手当	医師	次の職員が医療に関する研究、調査等に従事したとき。 (1) 院長 (2) 副院長 (3) 医師免許取得後10年以上の医師 (4) 医師免許取得後7年以上10年未満の医師 (5) 医師免許取得後3年以上7年未満の医師 (6) 医師免許取得後3年未満の医師 (7) 医師が特に命ぜられた医療業務に従事したとき。  (8) 医師が困難な業務に従事したとき	月額 860,000円 月額 360,000円 月額 340,000円 月額 300,000円 月額 280,000円 月額 180,000円 1回 15,000円 ただし、4時間を超えて当該業務に従事したときは、10,000円を加算する。 月額300,000円を限度として市長が定める額

⑤ 時間外勤務手当

支給実績（平成28年度決算）	17,305千円
職員1人当たり平均支給年額（平成28年度決算）	197千円

⑥ その他の手当（平成29年4月1日現在）

第2章の5「職員の手当の状況（6）その他の手当」と同様です。

## 第5章 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

### 1 一般職の勤務時間の状況

#### (1) 勤務時間、休憩時間及び休息時間

1週間の勤務時間	開始時刻	終了時刻	休憩時間
38時間45分	8:30	17:15	12:00～13:00

#### (2) 勤務時間の弾力化制度（4週間単位の変形労働時間制）

公務運営上の事情により特別な勤務時間の割振りを行う必要がある場合には、所属長の承認を受けて勤務時間を変更することができます。

### 2 休暇の概要

区分	種類	内容
年次有給休暇		20日（1暦年） ※繰越し20日
病気休暇	公務傷病	必要と認められる期間
	私傷病	必要と認められる期間（90日まで）
特別休暇	選挙権その他公民としての権利行使	必要と認められる期間
	証人等としての裁判所等への出頭	
	骨髄バンクへの登録、骨髄液の提供	
	ボランティア休暇	5日以内
	結婚休暇	7日以内（連続）
	産前・産後休暇	産前6週間（市長が認めた場合8週間、多胎は産前14週間）、産後8週間
	育児時間	1日2回各30分（生後1年以内）
	妻の出産	5日以内
	子の看護	5日（養育する子が2人以上の場合10日）以内（小学校就学まで）
	忌引	配偶者10日、父母7日、子5日等
	配偶者、子及び父母の追悼のための特別な行事	1日以内
	夏季休暇	5日以内
	災害等による住居の復旧作業	7日以内
	災害等による通勤困難時	必要と認められる期間
	災害時の通勤途上の危険回避	
	感染症予防のための交通制限等	
	生理休暇	2日以内
	妊娠中及び出産後1年以内の健康審査	必要と認められる期間
	要介護者の介護	5日（要介護者が2人以上の場合10日）以内



区 分	種 類	内 容
介護休暇	配偶者等の介護（無給）	介護を必要とする一の継続する状態ごとに3回を超えず、かつ通算して6月を超えない範囲内で指定する期間
介護時間	配偶者等の介護（無給）	介護を必要とする一の継続する状態ごとに連続する3年の期間内において、1日につき2時間以内

## 第6章 職員の休業の状況

### 1 各種休暇の取得状況

#### (1) 一般職員の年次有給休暇（平成28年1月1日～12月31日）

平均取得日数 8.9日（消化率 23.0%）（資料：平成29年度勤務条件等調査）

#### (2) 育児休業等の取得者数（平成28年度）

		育児休業	部分休業	育児短時間勤務
男性	新規	1人	1人	—
	継続	—	1人	—
女性	新規	7人	3人	4人
	継続	18人	6人	2人
合計	新規	8人	4人	4人
	継続	18人	7人	2人

（資料：平成29年度勤務条件等調査）

## 第7章 職員の分限及び懲戒処分の状況

### 1 分限処分の状況

分限処分は、公務能率を維持することを目的として、心身の故障や職に必要な適格性を欠くなど一定の事由がある場合に、職員の意に反する不利益な身分上の変動をもたらす処分です。その種類として、免職、降任及び休職があります。

#### (1) 分限処分者数（平成28年度）

区分	処分の種類				合計
	処分事由	免職	降任	休職	
市長部局等	心身の故障の場合	—	—	8人	8人
	条例で定める事由による場合	—	—	—	—
教育委員会	心身の故障の場合	—	—	1人	1人
	条例で定める事由による場合	—	—	—	—
合計	心身の故障の場合	—	—	9人	9人
	条例で定める事由による場合	—	—	—	—

(注) 条例で定める事由による場合とは、勤務実績が良くない場合、職制若しくは定数の改廃又は予算の減少により廃職又は過員を生じた場合などです。

### 2 懲戒処分の状況

懲戒処分は、職員が法令や職務上の義務等に違反した場合に道義的責任を問うことにより、公務における規律と秩序を維持することを目的とする処分です。その種類として、免職、停職、減給及び戒告があります。

#### (1) 懲戒処分者数（平成28年度）

区分	処分の種類				合計
	処分事由	免職	停職	減給	
市長部局等	法令に違反した場合	—	—	—	—
	職務上の義務に違反し又は職務を怠った場合	—	—	—	—
	全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	—	—	—	—
教育委員会	法令に違反した場合	—	—	—	—
	職務上の義務に違反し又は職務を怠った場合	—	—	—	—
	全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	—	—	—	—
合計	法令に違反した場合	—	—	—	—
	職務上の義務に違反し又は職務を怠った場合	—	—	—	—
	全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	—	—	—	—

## 第8章 職員のサービスの状況

### 1 職務専念義務免除の概要

職員は、法律や条例に特別の定めがある場合以外は、勤務時間及び職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用い、市民全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、かつ、職務の遂行にあたっては全力をあげてこれに専念しなければなりません。

研修を受ける場合、厚生に関する計画の実施に参加する場合等には、あらかじめ承認を得れば、職務に専念する義務を免除される場合があります。

### 2 営利企業等への従事

職員は、任命権者の許可を受けなければ、営利企業等の役員等を兼ねることや自ら営利企業を営むこと、その他報酬を得ていかなる事業又は事務にも従事することはできません。

## 第9章 職員の退職管理の状況

職員の退職管理については、以下の項目が義務付けられています。

- ・ 営利企業に再就職した元職員が離職前5年間の職務に関し、離職後2年間、原則職員へ働きかけることを禁止
- ・ 地方公務員法第38条の2第6項第6号の承認を得ようとする場合の承認申請の提出

承認申請の提出数（平成29年4月1日） 0件

# 第10章 職員の研修の状況

## 1 研修の状況

### 平成28年度 亀山市職員研修一覧表

#### 【階層別研修(三重県市町総合事務組合主催)】

開講月	研修名	日程	備考(受講対象、主催者、派遣先等)
4	ワンステップ研修前期Ⅰ基礎研修	2日間	新規採用職員
8	ワンステップ研修前期Ⅱ法令研修	1日間	新規採用職員
7	ワンステップ研修中期福祉施設体験事前研修	1日間	新規採用職員
9	ワンステップ研修中期福祉施設体験	2日間	新規採用職員
7	ワンステップ研修後期課題図書	7月～8月	新規採用職員
11	ワンステップ研修後期宿泊研修	1泊2日	新規採用職員
6	ツーステップ研修Ⅰ(キャリアメイキング・キャリアデザイン)	2日間	採用3～6年目
7	ツーステップ研修Ⅱ(クレーム対応)	2日間	採用3～6年目
7	スリーステップ研修Ⅰ(仕事の進め方)	2日間	採用6年目以上
11	スリーステップ研修Ⅱ(コミュニケーション能力)	2日間	採用6年目以上
9	マネージャー研修Ⅱ(地域災害危機管理・ヒューマンエラーの選択制)	1日間	主任主査
10	マネージャー研修Ⅰ(管理監督者の役割・コーチング)	2日間	主任主査
10	リーダー研修Ⅰ(地方創生のあり方)	2日間	室長昇格者
8	リーダー研修Ⅱ(指導能力向上)	2日間	室長昇格者
1	リーダー研修Ⅲ(安全衛生管理)	1日間	室長・園長昇格者

#### 【亀山市独自研修】

開講月	研修名	日程	備考(受講対象、主催者、派遣先等)
4	新採オリエンテーション	2日間	新規採用職員
5	若手職員研修	半日	採用4年目以下
7	人権研修	半日	採用8年目以上
8	事業創造研修	8月～1月	新規採用職員
11	技術職員研修	半日	技術職員
11	女性職員キャリアアップ研修	半日	主幹級以下女性職員
12	コーチングレベルアップ研修	1日間	主幹級
12	職場体験学習(年末年始特別清掃)	12/27、12/28、1/4	採用3年目以下
2	コンプライアンス研修	1日間	主査級

#### 【広域・派遣研修】

開講月	研修名	日程	備考(受講対象、主催者、派遣先等)
5	自治大学校(地方公会計特別研修)	5日間	自治大学校
5	JC青年の船 洋上研修	7日間	主催:(公財)日本青年会議所東海地区協議会
6	自治体外国人施策の実務	3日間	全国市町村国際文化研修所
6	固定資産税課税事務(土地)	11日間	全国市町村国際文化研修所
8	住民税課税事務	11日間	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
8	自治大学校(第1部・第2部特別課程)	約20日間	自治大学校
10	ソリューションフォーカスによる解決構築	4日間	全国市町村国際文化研修所
10	自治大学校(第2部課程)	約2ヶ月半	自治大学校
11	北勢4市合同研修(共感力を高めるコミュニケーション)	1日間	北勢4市(四日市・桑名・鈴鹿・亀山)30代の職員
11	管理職に必要な組織マネジメント	3日間	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
2	災害に強い地域づくりと危機管理	9日間	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)

#### 【その他研修(市町総合事務組合開催)】

開講月	研修名	日程	備考(受講対象、主催者、派遣先等)
4	公営企業会計研修	2日間	
6	法制執務研修(初級)	2日間	
6	法制執務研修(中級)	3日間	
6	給与実務研修	2日間	
6	税務実務研修(市町村民税(個人税))	2日間	
7	税務実務研修(固定資産税(家屋))	2日間	
7	情報処理研修(Word、Excel、Access、PowerPoint)	各コース1日間	
8	法務トレンド研修	1日間	
9	三重地方行財政アカデミー研修会①	1日間	
10	メンタルヘルス研修	1日間	
11	用地取得実務研修	1日間	
1	三重地方行財政アカデミー研修会②	1日間	
1	不当要求対策研修	1日間	

## 第 1 1 章 職員の福祉及び利益の保護の状況

### 1 健康管理事業の状況

労働安全衛生法及び亀山市安全及び衛生管理に関する規程に基づき、事業者責任として、職員の安全と健康を確保するため下記の健康管理事業を実施しています。

事業名	事業の内容
定期健康診断	職員の一般的な健康状態を把握し、適切な就業上の措置や保健指導を実施する。
特定業務健康診断	深夜業など特定の業務に常時従事する職員に業務上疾病が発生するのを予防する。
ストレスチェック	職員自身のストレスへの気付き及びその対処の支援並びに職場環境の改善を実施する。
その他健康診断	VDT健康診断、胃がん・婦人がん検診等の健康診断を実施する。
その他の健康管理事業	健康相談（月1回実施）、人間ドック受診者支援

### 2 職員互助会への補助金の状況

地方公務員法第42条に定められる地方公務員の厚生制度を効率的、効果的に実施するため、職員互助会に対し助成しています。

補助実績（平成28年度決算）	A	4,207千円
職員互助会の事務費・人件費の額	B	1,649千円
職員1人当たり補助金額（(A-B)÷職員数）		4.4千円

### 3 その他福利厚生事業の状況

職員の共済制度については、地方公務員等共済組合法に基づき共済組合が、公務災害補償については、地方公務員災害補償法に基づき地方公務員災害補償基金が、それぞれ主体となり制度を実施しています。

## 第 1 2 章 その他市長が必要と認める事項

### 1 公平委員会の業務の状況

#### (1) 業務の状況

○公平委員会の概要

公平委員会は、地方公務員法第 7 条第 3 項の規定により設置され、また処理する業務は同法第 8 条第 2 項において定められています。その主な業務の内容は次のとおりです。

- ・ 職員の給与、勤務時間その他の業務条件に関する措置要求を審査し、判定し、および必要な措置を執ること。
- ・ 職員に対する不利益な処分についての不服申立てに対する裁決又は決定をすること。
- ・ 職員の苦情を処理すること。

#### (2) 勤務条件に関する措置の要求の状況

○勤務条件に関する措置の要求の件数

区分	H28. 3. 31 現在 未処理件数	H28. 4. 1～ H29. 3. 31の不 服申立て 件数	H28. 4. 1～ H29. 3. 31の処 理件数	左の内訳		H29. 3. 31 現在 未処理件数
				H28. 3. 31 現在未処理件 数に係る処理 件数	H28. 4. 1～ H29. 3. 31の不 服申立てに係 る処理件数	
—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—

#### (3) 不利益処分に関する不服申立ての状況

○不利益処分に関する不服申立ての件数

区分	H28. 3. 31 現在 未処理件数	H28. 4. 1～ H29. 3. 31の不 服申立て 件数	H28. 4. 1～ H29. 3. 31の処 理件数	左の内訳		H29. 3. 31 現在 未処理件数
				H28. 3. 31 現在未処理件 数に係る処理 件数	H28. 4. 1～ H29. 3. 31の不 服申立てに係 る処理件数	
—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—